

**令和3年度 日本大学経済学部 総合型選抜  
論文・プレゼンテーションによる選考 第一次選考 小論文課題**

日本大学経済学部

以下の課題について、募集要項（本学部ホームページよりダウンロードしてください）に含まれる指定用紙を使い、2,700字以上3,000字以内で小論文を書きなさい。ただし、図表や参考文献リストなどは文字数には含みません。

**【課題】**

日本では、下の表のように、道路や橋、トンネルなどの公共インフラの老朽化が問題になっています。また地方公共団体においては、学校や公民館、上下水道などの補修が進んでいないことが指摘されています。しかし公共インフラの整備や更新は容易ではありません。それには大きな費用がかかるだけでなく、今後の人口減少や居住地の偏在などを踏まえると、必ずしも長期的に利用されるとは限らないからです。

建設後50年以上経過する社会資本の割合

	2018年3月	2023年3月	2033年3月
道路橋 【約73万橋注1】（橋長2m以上の橋）】	約25%	約39%	約63%
トンネル 【約1万1千本注2】】	約20%	約27%	約42%
河川管理施設（水門等） 【約1万施設注3】】	約32%	約42%	約62%
下水道管きよ 【総延長：約47万km注4】】	約4%	約8%	約21%
港湾岸壁 【約5千施設注5】（水深-4.5m以深）】	約17%	約32%	約58%

出所) 国土交通省ホームページ「社会資本の老朽化対策情報ポータルサイト インフラメンテナンス情報」  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/02research/02\\_01.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/02research/02_01.html)

あなたが住んでいる地域では、公共インフラの老朽化に関してどのような指摘がなされていますか。また、今後の公共インフラの整備や更新について、どのような方針がとられていますか。まず現状を説明してください。

次に、あなたの住む地域の方針をどのように評価しますか。他の地方公共団体との比較を通じて、あなたの意見を述べなさい。

なお、理由や根拠を述べる際には、インターネットや書籍などを用いた検討だけでなく、オンライン調査や電話・web等による非対面式のインタビュー調査を自分自身でおこなってください。

**<利用した参考文献リストなどの情報は添付>**

- ・オンライン調査や非対面式のインタビュー調査については、調査した相手（公開に同意した場合）、実施した年月日、手段を明記し、その一覧を別紙に示してください。公開の承諾が得られなかった場合にはその旨を記載し、A社などとしてください。
- ・インターネットや書籍などを用いた場合は、URLや文献情報（著者名、書名、発行所、発行年、ページ数）を明記し、利用したデータの出所も明らかにしてください。
- ・URL・文献・データ等の情報、ならびに図表は、別紙（A4版両面5枚以内）にまとめて添付してください。

**<利用した文献等の記載例>**

オンライン調査・非対面式のインタビュー調査の場合：日大市、広報担当、日大ケイ太、2020年8月8日  
インターネットの場合：日本大学経済学部（<https://www.eco.nihon-u.ac.jp>：閲覧日2020年8月4日）  
書籍の場合：日大ケイ子『詳説日大経済』神田三崎町出版、2017年、23-33ページ  
新聞の場合：『日大経済新聞』朝刊、2020年5月10日3面  
データの場合：総務省「労働力調査」、2019年